

Data(2016年11月現在)

所在地: 〒629-0392 京都府南丹市日吉町保野田
ヒノ谷6-1

スタッフ: 佐藤裕見子(教授), 田中富美子(准教授),
坂井茂子(講師), 村上久恵(助教)

URL <http://www.meiji-u.ac.jp/>



明治国際医療大学看護学部看護学科 公衆衛生看護学領域

History and Now

どのような機関なのでしょう？

本学看護学部は、1925年(大正14年)に日本初の東洋医学の教育機関として大阪市西区に創設された山崎鍼灸学院を起源とする明治鍼灸大学が、1983年(昭和58年)に南丹市日吉町に開学したのを機に、2004年(平成16年)に保健医療学部設置に引き続き、2006年(平成18年)に新設されました。西洋医学に東洋医学のエッセンスをプラスした教育による看護専門職者の育成を教育理念としています。看護師の教育課程を柱に、選択コースにおいて助産師、保健師、養護教諭二種の選択履修ができるほか、アロマセラピストの資格がとれるカリキュラムになっています。

Education

どのような教育をしていますか？

看護学部の教育の特徴としては、人間性への深い洞察と倫理観、看護専門職者としての実践力、統合医療の理念を看護学に導入、国際交流の推進、充実した学習環境ときめ細かな教育、生涯教育と地域社会への貢献があげられます。

保健師選択コースでは、実習の一環として、地域の健康問題を歴史的背景や文化、生活環境の側面から理解し、住民の潜在的健康問題に気づき、住民とともに解決してきた保健師の実践活動への理解を深めるために、地元にあるマンガン鉱山の坑道の視察や塵肺問題に取り組んだ保健師活動の歴史を学んでいます。また、フィールド活動においては、さまざま

な職種が参画する“なんたん地域連携研究会”、子育てネットワーク活動、“発達障害を考える会”などNPO組織によるキャンプ、高齢者サロンの活動等への参加により、生きた地域連携、地域住民の生の声や生活に触れるコミュニケーション体験を図っています。

Research

どのような研究をしていますか？

高齢化率40%の農山村地域に継続的に入り、高齢者のロコモティブシンドロームの予防や、地域ボランティアスタッフなどの支援活動を行い、地域の社会福祉協議会や地域包括支援センター、地域食生活推進員、地元農協との連携を図る中で、高齢社会における健康寿命の延伸や過疎地域におけるコミュニティエンパワメントのあり方などの研究活動を推進しています。

Collaboration

保健活動の現場とのつながりは？

大学および大学付属病院に隣接した薬局やコンビニ、訪問看護ステーション、地域コミュニティホール等複合施設において、大学として「まちの保健室」を開設し、認知症予防相談、睡眠相談、子育て相談など教員協働による地域支援活動を行い、市町村および保健所の保健活動とも連携して地域包括ケアの推進の一翼を担っています。また、地域協定を結ぶ市町村の健康づくり推進協議会、食育推進会議への参画、地域防災訓練への教職員や学生の参加により、地域連携を一層図っているところです。

ひとこと

人々の健康への価値観が多様化する中で、エビデンスにもとづく西洋医学だけではなく、自然の摂理に従い、自然治癒力を高め健康を維持する東洋医学の見地をもった人材が求められています。本学では、東洋医学、さらにアロマセラピーなど補完代替療法を取り入れた、人に優しく全人的なケアの実践ができる人材を育てるカリキュラムを用意しています。
……佐藤

あなたの研究室を紹介してください! 保健師ジャーナルでは、このページに登場してくださる研究室(保健師教育に関わる講座・分野・領域)を募集中です。研究室での保健師教育の特色や、研究活動、現場とのつながりをご紹介します。

応募方法 ●電話、FAX、E-mailのいずれかにて編集室までご連絡ください。掲載分には医学書院特製図書カードを進呈いたします。

連絡先 ●医学書院『保健師ジャーナル』編集室 ☎03-3817-5774 FAX 03-5804-0485 ✉hokenshi@igaku-shoin.co.jp